

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

一遍上人のフライバイ

会長 平林 久

一遍上人は鎌倉時代中期、浄土宗の坊さんとして一途に捨て切った人生をつきすすんだ上人でした。

臼田宇宙空間観測所は、北八ヶ岳の山麓にあって、白い64mアンテナが探査機との通信をになっています。この地籍は上小田切といいますが、一遍上人たちが踊念仏を始めたのはアンテナからちよっと下った小田切の里だということに気づきました。

相模原の宇宙科学研究所からちよっと南の当麻にある無量光寺は、一遍がお告げにより開いて、2回滞在したところですが、それで本堂跡には等身の像が立っています。

一遍上人絵巻にも出てくる独特の顔かたち、歩きださんとする姿そのままです。実はこのレプリカ像がまた、宇宙科学研究所隣の相模原市博物館にも立っているのです。



イラスト 平橋珍画伯??

さらにまた、一遍上人の開いた時宗の総本山は、おなじ神奈川県藤沢の遊行寺です。鎌倉に入る前の片瀬でも盛大な踊念仏が行われたそうです。こうして、一遍上人はあたかもながい旅の中で、宇宙科学研究所の要所をフライバイしていった探査機のような走り続ける光子？

一遍上人は貴賤を問わず、念仏によって人は救われるという、明快な信念を人々に触れてまわっていただきました。世にこれほど徹底して実践した宗教家はいたでしょうか。

一遍さんの想いはどう継続していくのだろう、それぞれはどう生きていくのだろう。その後の時衆は？

こんなことを考えさせられます。子ども・宇宙・未来の会に集まった私たちはどのように進んでいくのだろう。そんなことも考えます。

一遍上人は、熊野権現となつてあらわれた阿弥陀如来を通じて、大事な考えを感じましたということになっています。あれ、KU·MAの権現？

図書館から一遍上人絵伝のコピー本を借りて眺めています。布教の旅(遊行)にでかけるシーンは弟子と尼さんと女の子が同行する、謎めいた部分です。優しく白く桜の花が咲いてい



巻の中で僧侶も、貧しい人々や病者も優しく描かれています。そして16年の旅の終わりで上人が亡くなり、あとを追って入水する弟子や病者が流れていきます。そうして絵巻は静かに終わります。

平成28年度 KU·MA 活動予定 (4月~6月)

- ・「宇宙の学校」全国 55 校 (予定) でスタートいたしました。新規校は岡山県新見市、和気町、沖縄県沖縄市など
- ・おとなの「宇宙の学校」国分寺市、相模原市 (予定)
- ・企業 CSR 支援 三菱重工業株式会社、CKD 株式会社
- ・5/24 (火) 第1回理事会
- ・千代田区環境月間講演会 講演とワークショップ
-宇宙でのリサイクルとロケット-
- ・6/13 通常総会

熊本地震のお見舞い

熊本・大分で発生している地震の被害により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。熊本県2名、大分県1名の会員の方がいらっしゃいます。一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。